学校番号	１１５

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年	１年
類型等	共通						
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組みや個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味を持ってもらう。

2　学習の到達目標

・個人および社会生活における健康・安全についてパッチテストなどの実験を取り入れて理解を深めるとともに、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理することおよび環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらをあらわしてる。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	ワークシート ディスカッション ブレインストーミング など	定期テスト ワークシート ディスカッション ブレインストーミング その他成果物等	定期テスト ワークシート ディスカッション ブレインストーミング その他成果物等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	現代社会と健康	１私たちの健康のすがた ２健康のとらえ方 ３健康と意思決定・行動選択 ４健康に関する環境づくり	○	○	○	a:「健康」について、健康水準の向上・健康指標や保持増進のための意思決定や行動選択を調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 「健康」について、健康水準の向上・健康指標や保持増進のための意思決定や行動選択について考え、自分の考えを整理し、説明することができる。 c: 「健康」について、健康水準の向上・健康指標や保持増進のための意思決定や行動選択について記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		５生活習慣病とその予防 ６食事と健康 ７運動と健康 ８休養・睡眠と健康 ９喫煙と健康 １０飲酒と健康 １１薬物乱用と健康	○	○	○	a:日常生活の生活行動と生活習慣病の関係や食事・運動・休養・睡眠・喫煙・飲酒・薬物が健康な生活を送るうえで影響を及ぼすことについて調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 日常生活の生活行動と生活習慣病の関係や食事・運動・休養・睡眠・喫煙・飲酒・薬物が健康な生活を送るうえで影響を及ぼすことについて自身の生活と比較、分析することができる。 c: 日常生活の生活行動と生活習慣病の関係や食事・運動・休養・睡眠・喫煙・飲酒・薬物が健康な生活を送るうえで影響を及ぼすことについて自身の考えや課題対策を導くことができる。 また、これらのことが例をあげて記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
2学期		１２現代の感染症 １３感染症の予防 １４感染症・エイズとその予防	○	○	○	a:感染症・性感染症やエイズとその予防について課題解決に向けて調べ学習活動に取り組もうとする。 b: 感染症･性感染症やエイズとその予防について考え、意見交換をすることができる。 c: 感染症･性感染症やエイズとその予防について課題解決に向けて記述･説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		１５欲求と適応規制 １６心身の相関とストレス	○	○	○	a:欲求や適応規制、心身相関とストレス、ストレスの対処について課題解決に向けて調べ学習活動に取り組もうとする。 b: 欲求や適応規制､心身相関とストレス、ストレスの対処	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等

		１７ストレスへの対応				について自分で考え、整理したりすることができる。 c: 欲求や適応規制、心身相関とストレス、ストレスの対処について、自分自身の生活を振り返って考えることができる。また、記述・説明ができる。	
		１８心の健康と自己実現					
３学期		１９交通事故の現状と要因	○	○	○	a:交通事故の現状、交通社会で必要な資質と責任、安全な交通社会づくりについて調べ学習活動に取り組もうとする。 b: 交通事故の現状、交通社会で必要な資質と責任、安全な交通社会づくりについて自分で考え、整理したりすることができる。 c: 交通事故の現状、交通社会で必要な資質と責任、安全な交通社会づくりについて理解し、記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		２０交通社会における運転者の資質と責任					
		２１安全な交通社会づくり					
		２２応急手当の意義とその基本	○	○	○	a:応急手当の必要性や意義、心肺蘇生法の手順や AED の使用法、日常生活でおこりうる傷害等ついて調べ学習活動に取り組もうとする。 b: 応急手当の必要性や意義、心肺蘇生法の手順や AED の使用法、日常生活でおこりうる傷害等ついてまとめたり、整理したりすることができる。 c: 応急手当の必要性や意義、心肺蘇生法の手順や AED の使用法、日常生活でおこりうる傷害等ついて理解し、記述・説明ができる。	課題学習の成果物 ﾌﾞﾚｲﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞの成果物 班別発表への取組、資料や発表内容 定期テスト等
		２３心配蘇生法					
		２４日常的な応急手当					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

○上に示す観点に基づいて、出席状況、授業への取組姿勢、や定期テストなどを総合的に判断し、学習のまとまりごとに評価、学年末に５段階の評価にまとめます。
○学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。